

特集：キャリア支援

就職活動体験記

安藤 智恵（筑波大学 生命環境科学研究科博士前期課程2年）

就職活動体験記ということで、どの時期に何を、どう思ったか、もっとこうすればよかったなど、考えたことを書きます。私はデータ通信やシステム構築事業を行っているシステムインテグレータに、エンジニアとして入社する予定です。生物とは関わりのない分野ですが、研究とは違うことを仕事にしたい方などの参考になればと思います。

6月初旬；リクナビ、マイナビに登録した

就活サイトに登録すると毎日、何通も説明会などのお知らせメールが届くようになります。それによって情報が嫌でも入ってくるため、早いうちから自分がどのような仕事に就きたいのかを考えていました。

6月中旬；企業インターンシップに興味をもち、選考を受けた

主にリクナビから企業のインターン情報を得ていました。「働くってどんな感じなのか」を少しでも実感してみたいと考えていたためです。ちなみに当時は就職先とは全く異なる業界を見ていました。

8月前半；インターンに参加

(2週間の就業体験型、日当5000円♪)

インターンのメリット

- ・人気のあるインターンにはきちんとした選考があるため、早い時期に面接やグループディスカッション(GD)を経験することができました。
- ・都内の学生の就活への意識の高さに驚き、つくばでまったりしてはダメだと早めに気づくことができました。※人によります
- ・企業によっては本選考で有利になる可能性があるそうです。しかし無能さを露呈してしまった場合、不採用に直結してしまうリスクもあります。
- ・友人が増える、日当が出るものも。

8月後半から9月は就活らしいことはあまりせず、実験していました。

志望業界に関する本をこの時期に読んでおけばよかったと、年が明けてから思いました。

10-11月；合同説明会、企業主催の説明会に予約、参加

大規模な合同説明会はリクナビ、マイナビなどが主催し、東京ビックサイトで行われることが多いです。人が多過ぎてゆっくり話を聞けるブースは少ないけれども、志望業界が決

まっていなかった場合はいろいろな企業を一度に見られる良い機会かもしれません。

企業主催の説明会はすぐ席が埋まってしまうので予約が大変でした。早めに企業の新卒採用ページに登録しておけば、予約開始を知らせてくれるところもあります。

この時期は製薬、食品、自動車、ITなど本当にさまざまな企業の説明会に行きました。自分が就職して何をしたいのかを考えたときに、世の中のより広い範囲に、より多くの人々に良い影響を与えられる仕事をしたかったということでシステムインテグレータ(SI)企業で働きたい！！と強く思うようになりました。業務は生物の研究とは何の関係もありません。しかし私は大学で学んだ知識よりも、思考プロセスやこれまでアルバイトや部活動で培ってきたものを生かしていきたいと思っていたので、迷いはありませんでした。

12月；外資系企業の選考が始まる

あまり興味はありませんでしたが、エントリーシート(ES)やwebテストの練習にもなると思い、いくつか受けました。面接やハイレベルなGDを経験できたことは大きな収穫でした。

1、2月；日本企業の説明会、ESラッシュ、OB/OG訪問

当たり前のことですが、提出したESはきちんと管理して面接前にしっかり読み直しました。さらに設問別(研究内容/学生時代ががんばったこと/志望動機/長所・短所)に分けたものも用意して、他企業のESをスムーズに書けるようにしました。例えば、学生時代ががんばったことを何通りか作っておいて、A社にはエピソード①で社交性を、B社にはエピソード②で粘り強さをアピールしよう、といったような具合です。また、これによって面接で「他には？」と聞かれたときスムーズに答えることができました。

OB/OG訪問では説明会などではわからない、残業や休暇、お給料、上司との関係など会社の実情を聞くことができました。例えば女性の働く環境について、最近ほどの企業も「子供を生んでも復帰できます！働きやすいです！」と謳っており、くるみマーク取得をアピールしていますが、実際に女性社員の方に聞いたお話のほうがはるかに信頼性のある情報だと私は思います。

どのようにOB/OGを探したかという、私は就職課の名簿(あまり充実していないけど)をもとに連絡をとり、お願いしていました。またOB訪問を受けてくださった方が、他のOBを紹介してくれたり、同じ業界を志望している友人に紹介してもらったりしたこともありました。見ず知らずの人に

いきなりメールを送るのはかなり勇気が必要でしたが、筑波大のOB/OGの方々は皆さん本当に親切で、丁寧に対応してくださいました。自己PRや志望動機にアドバイスをいただくこともできました。気をつけていた点として、以下のよう
なことが挙げられます。

- ・メールの書き方などのマナーをきちんと守り、失礼がないようにすること。
- ・訪問前に自分に関する情報をお知らせしておくこと。どういう経緯でその業界を志望するに至ったか、どのような仕事
がしたいかなど、忙しい方が多いのでわかりやすく簡潔に！
- ・質問はあらかじめまとめておくこと。

3月；選考が本格化

いろいろな企業の選考を受けました。この時期に面接慣れをしておく
と、かなりあとで楽になるのではないかと思います。また、私は緊張すると早口になってしまうタイプなので、返答に困るような質問をされたときはとにかくゆっくり、よく考えながら話すようにしていました。面接官も即答を求めているわけではないと思います。

そんな調子で下旬にSI企業2社から内々定をいただき、ほっと一安心して第一志望に備えました。

4月；経団連の倫理憲章を守る大手企業の面接が一斉に開始

4/1は面接が3社ありました。しかし6社という就活生もいました！ESを整理しておき、志望動機など他社と間違えないように気をつけました。また、急に履歴書を出すよう言
わることがあったので、志望動機以外の部分を記入しておいた履歴書を持ち歩いていました。とてもハードな時期なので、とにかく体調を整えておくことはすごく大事です。

5日に第一志望から内々定をいただき、就職活動終了。

新聞について

やはり日経新聞、読んでました。別に日経である必要は無く、他の新聞でもいいし、webのニュースでも十分だと思
う人もいます。しかし企業に関する情報が多く載っているのは日経ではないかと思いました（私は秋頃までは他の新聞を購読していたので、それと比較して）。

移動中の電車で、ケータイをいじっているのではなく新聞を読む、これだけでもだいぶ違うのではないのでしょうか。気になる記事があれば切り取って、ノートに貼ったり、わからない言葉を調べたり、自分の意見を書いてみたり、慣れてくるといろいろできます。そして面接のネタ帳になります。就活のためだけではなく、社会人になる準備だと思って続けていま
した。

本について

私は就活マニュアルのような本は読みませんでした。立ち読みしてみたものの、当たり前のことしか書いてないと思っ
たからです。業界についての本は何冊か読みました。四季報、

業界地図はもらいものたまに見ていました。年収ランキングなどがおもしろかったためです。

テスト対策

就活ではいろいろなテストを受けなければならない機会があります。SPI、玉手箱、CAB・GABなどなどなど。自分の受ける企業がどのテストを使っているか、早めに調べて対策しておく必要があります。

テストセンターに関しては、かなり多くの企業が使っていると思われます。自分の成績を知ることは基本的にはないですが、私はある企業の内々定後のフィードバックで、成績を見せてもらいました。7段階評価で言語は7、非言語は6だったようで、確かにテストセンターで落とされたことはあり
ませんでした。ちなみに言語で切られる人のほうが多いらしいです。私は言語の方に苦手意識があったので自分の成績を見て驚きましたが、相当勤が冴えていたのでしょう。対策はSPIノートの会の本と、DSのSPI対策のソフトを使ってい
ました。とにかく時間との勝負なので慣れが必要です。私は公務員試験対策で数的推理などには慣れていたのでそれほど苦勞しませんでした。国語・算数が極端に苦手な人は早めに問題を解いてみて、危険な場合にはしっかり対策をしたほうがいいと思います。

Communicated by Hidekazu Kuwayama, Received May 31, 2010.